

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目 1

【業務の効率化(職員数の見直し)】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 人員マネジメントを適切に行いながら、スリムで効果的な業務執行体制を確立し、生産性の向上を図る。 (取組の概要) 業務の委託化や見直しを積極的に推進することで、効率化を図り、人員削減に取組む。 一方で、事務・技術職員の年齢構成の平準化を図るため、計画的な採用に取組む。 (目標) 平成29年5月1日時点の職員数(1,388人)から、10年間(平成39年度まで)で200人以上を削減する。	当年度の取組内容 (取組の内容) 【業務効率化の実施等】 ・平成29年度に検討した水道メータの点検・未納整理業務の委託範囲の拡大などによる業務の効率化を実施する。また、浄水場維持管理や給配水設備維持管理については、より効率的な業務執行体制を確立し、委託化等を推進する。 【年齢構成の平準化】 ・新規採用者の確保 (目標) ・平成30年4月1日時点の職員数から、平成31年4月1日時点の職員数を、新規採用者を確保しつつ、20人以上削減する。
----	---	---

中間振り返り	取組内容の実施見込み ()実施見込み ()実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み :達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成	

取組項目 2

【浄水場のダウンサイジングの推進】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 水需要と施設能力との乖離が続いていることから、将来の水需要を踏まえた浄水場の施設能力(144万㎡/日)に向けて事業の効率化を図るため、浄水場のダウンサイジングを実施する。 (取組の概要) ・ダウンサイジングに先駆けて、安定給水を確保するため、順次、浄水場の耐震化を実施する。 ・ダウンサイジング後の土地有効活用と、新大阪・大阪エリアのまちづくり構想を踏まえ、関係先と実施に向けた調整を行う。 ・柴島浄水場上系を廃止する。 (目標) ・ダウンサイジングの実施に向けて、着実に浄水場の耐震化を進める。 ・ダウンサイジング後の土地有効活用と、新大阪・大阪エリアのまちづくり構想を踏まえた柴島上系のダウンサイジングを実施する。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・ダウンサイジング後の土地有効活用と、新大阪・大阪エリアのまちづくり構想を踏まえ、引き続き関係先と工程調整を行う。 ・豊野浄水場の耐震化を進める。 (目標) ・新大阪・大阪エリアのまちづくり構想の進捗状況を踏まえて、当局のダウンサイジングスケジュールに反映する。 ・豊野浄水場の耐震化 凝集沈でん池(半量)底版の築造(平成30年度完了)
----	--	---

中間振り返り	取組内容の実施見込み ()実施見込み ()実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み :達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成	

取組項目3

【企業債残高の削減】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・経営基盤強化のため、企業債残高を引き続き削減する。 ・企業債残高の指数である「給水収益に対する企業債残高割合」(以下、指数という)が、類似都市4都市平均の概ね200%以下の水準になるよう、平成29年度末見込残高から今後10年間で400億円以上の削減をめざす。 平成39年度末目標残高:1,079億円 [平成29年度末見込残高:1,479億円] 参考 平成28年度末決算指数 大阪市・・・276.6% 4都市平均・・・192.0% 4都市:本市と同等の概ね給水人口200万人以上の類似都市 札幌市・東京都・横浜市・名古屋市	(取組の内容) 企業債の新規発行を抑制するとともに、着実に償還を行う。 (目標) 平成29年度末見込残高から100億円以上の削減をめざす。

中間振り返り	取組内容の実施見込み	<input type="checkbox"/> 実施見込み <input type="checkbox"/> 実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み	:達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成	

取組項目4

【資産の有効活用】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・「局資産の転活用にかかる基本計画」(平成19年7月策定)と、その後の更新状況に従い、「扇町用地」を含む未利用地の売却及び貸付等による有効活用を行う。	(取組の内容) ・引続き、未利用地の貸付及び売却により事業外収益の確保に努める。 (目標) ・売却収入及び貸付賃料を合わせて64億円以上の収入確保を図る。 売却収入・・・61億円 貸付収入・・・3億円

中間振り返り	取組内容の実施見込み	<input type="checkbox"/> 実施見込み <input type="checkbox"/> 実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み	:達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成	

取組項目 5

【未収金の回収に向けた取組】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 給水料の既存未収金を解消し、かつ新たな未収金の発生を抑制することで、安定した収益確保を図る。 (取組の概要) 滞納者の状況に応じ、柔軟で効果的な手法を用いた未納整理業務を実施する。 (目標) 収入率99.8%以上を維持する。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・滞納者に対しては、給水停止を厭わず、公正・厳格に督促する。 ・支払能力のある滞納者に対しては、法的措置など様々な手段を行使して未収金を回収する。 ・料金徴収業務委託業者と連携して、計画的・効率的な督促を実施する。 ・未収金回収特別チームにおいて、長期・高額の未収金回収を図る。 ・共同督促の実施など、建設局と連携して未収金回収を図る。 (目標) 平成30年度分収入率(平成31年5月末時点)を99.8%以上(平成29年度目標)とする。
----	---	---

中間振り返り	取組内容の実施見込み	()実施見込み ()実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み	:達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成		

取組項目 6

【内部統制の強化】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 内部統制のPDCAサイクルを自ら回すことができる自律的なリスク管理体制の強化に取り組む。また、職員のコンプライアンス意識を啓発し、各職場でコンプライアンス違反を発生させないための自律的な取り組みを促進する。 (取組の概要) 滞納者の状況に応じ、柔軟で効果的な手法を用いた未納整理業務を実施する。 (目標) 収入率99.8%以上を維持する。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・各職場がPDCAサイクルを活用した自律的なリスク管理の実施状況の確認 ・他局での事例を含め、公益通報や監査を通じて検出されたコンプライアンス違反や不適正・不適切な事案についての情報を教訓として共有し、コンプライアンス意識の向上及び同種事案の再発防止を徹底 ・コンプライアンス研修等の実施 (目標) ・適切に業務が行われているか日常的にチェックを行っていると考えている職員の割合を80%以上とする。 ・コンプライアンスを「意識していない」職員の割合を2.1%以下とする。
----	--	---

中間振り返り	取組内容の実施見込み	()実施見込み ()実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み	:達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 :目標未達成		

取組項目7

〔工業用水道事業の経営の効率化〕

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 社会情勢や産業構造の変化により水需要の減少が続いていることなどから、事業運営は非常に厳しい状況であるが、単年度黒字を継続するために、効率的な事業運営を行う。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・企業債を発行しないなどによる資本費の抑制 ・事務事業の精査等により、経常経費のさらなる削減を図る (目標) ・単年度経常黒字の確保
----	---	--

中間振り返り	取組内容の実施見込み	()実施見込み ()実施できない見込み	課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	目標の達成見込み	:達成見込み :達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 左記が「 」の場合は必須
	:目標達成 目標未達成		